

三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三条別院に想う

▲三条別院の庭講の代表を務められていた大泉三郎氏が六月三十日にお亡くなりになりました。今回は後任として代表を引き受けていただいた風間正喜氏より執筆いただきます。

【三条別院有志の会庭講の「好」を考える】

三条教区十九組の役員で、同朋会館に行っていたころ、三条別院列座斎木さんより三条別院をきれいにしたいので、掃除の手伝いをしていただけませんか、との話でしたので、「草取りでもすればいいのか？手伝えるな」と、引き受けました。実際はただの草取りではなく、参道の側溝のふたをはがし、溜まった土、かれた葉っぱなど取り除き作業。ただの草取りとは違い、めえいつばえい汗をかかれました。午後から十三日の法話、気持ち良く聞くことが出来た記憶があります。今振り返ると、別院の阿弥陀様がさせたのかな、と思います。この後受けた法話は睡魔をこらえて聞くことが多く、内容は跳んでいきます。これがまた、我に返った時の「悪い・しまったー」の入り混じった気持ちよさ。たまりません。阿弥陀様にも勘弁してもらえろと思います。書院から見る庭を、「浄土庭園」にしたいと思っておりますので、三条別院の阿弥陀様が「まだだ、まだだ」と、呼びつけているように思えるうちは、続けたいと思います。

ます。令和四年六月三十日、三条別院有志の会庭講代表の大泉三郎氏環浄の知らせを受け、突然の事、戸惑い、受け入れがたい気持ち。手を合わせ浄土庭園へお念仏申します。小生が後を引き継ぎます。



【仏壇の前に座り阿弥陀様に合掌して初心忘れず】

お内仏の前に座り左右の手を合わせ、初心忘れず回想してみました。赤本を開き、三帰依文、正信偈、念仏和讃、回向、声を出して読み上げて、仏壇の阿弥陀如来と向き合い今日も良かったかなど、ちよつとだけ一人反省会。ですが、どうしてもわからないことがありますね。何せ八百年前の書き物と格闘して声を出して読み上げても、世の中の元号は令和四年ですから。とはいえ、『真宗の生活』(教化冊子二〇二二年版)「篤く三宝を敬え」によれば、聖徳太子(昨年が千四百回忌)『十七条憲法』第一条は「其れ三宝に帰(よ)りまつらずは、何をもつてか枉(まが)れるを直さん」と結ばれます。三宝に帰依しなければ、現代生活の中のさまざまな枉ったことが直されないというのです。三帰依文の仏・法・僧の事が書かれています。凡夫にもわかります。うんうん。

正信偈はたくさん解釈資料が出ています。同朋新聞二〇一九年一月号より二〇二二年七月号まで三十三回連載がありました。(井上尚実大谷大学教授著)新聞を見ていて何故か嘆佛偈をやらされました。宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要に併せて『親鸞聖人の直筆にふれる正信念佛偈』を私は購入しました。すごくいい本です。語註(一から八十八まで)も解りやすく現代語訳です。次に回向。

願以此功德 平等施一切
同發菩提心 往生安樂國

「願以此功德」(和訳歌詞)
願わくは一切世界の人々と この出会いの喜びをみな平等に分ち合い ともに仏になる心発して 阿弥陀みほとけの安樂國に生れ 生きてはたらく身とならん

音楽法要の楽譜の和訳歌詞が出来て分かりやすくなりましたね。
問題は八〇〇年前に作られた念仏和讃。どなたかわかるようにしていただけないでしょうか、お願いします。

風間 正喜氏 (第十九組 満願寺門徒、庭講代表)



【参加者募集中。研修旅行も再開予定。写真は2018年の旅行の様子】

○次回の「三条別院に想つ」は、
山崎 超氏（第十一組 浄福寺）
より「執筆いただきました」
▲今回は五月の慶讃法要お持ち受け大会で司会をされた山崎さんにお話を伺います。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗
八百年慶讃定例法話会を九月から再開

毎月十三日の闡如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お持ち受け事業として九月より再開いたします。

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

◆九月の講師

北條 頼宗氏（高田教区 照行寺住職）

◆日時 九月十三日（火）

午後一時三十分より

午後四時三十分

（勤行、感話、座談あり）

◆今後の講師

十月 水嶋 聡氏（高田教区光徳寺）

十一月 富沢 慶栄氏（第二十一組超願寺）

十二月 平等良香氏（福井教区徳永寺）

二〇二三年

二月 田澤 一明氏（第十九組明誓寺）

三月 渡邊 学氏（第二十三組明正寺）

四月 黒田 進氏（長浜教区満立寺）

五月 井上 円氏（高田教区浄泉寺）

六月 藤場 芳子氏（金沢教区常讃寺）

朝の人生講座・夏の御文拝読 報告

恒例の三条別院朝の人生講座が蓮如上人最晩年の「夏の御文」四通の拝読にあわせ、八月十八日から二十一日まで開催されました。今年のテーマは「死」。

二〇一七年から「人生講座」という名称のおおりに「生老病死」とテーマを決め、「生」「老」「病」と続けて参りました。

二〇二〇年が新型コロナウイルス感染症の影響で休止（内勤め）となりましたが、昨年は再開することができ、「死」について二十代から五十代僧侶に話していただきました。本年は、同テーマで五十代から八十代僧侶にお話いただきました。

講師は次の通り。白鳥道子氏（第十五組本龍寺）、多田 修氏（第二十組照覚寺）、山代英世氏（第二十一組浄泉寺）、春日 順一氏（第四組西樂寺）。また、三条市の「共食事業」との協力も再開し、講師の先生方とともに、旧御堂にて毎日希望者十五名程度と、中央商店街の streets & Bakery conet のパンを食べました。市役所からトースターとコーヒーのセットを貸していただき、パンを温めて食べました。講師の先生に、信心について毎日質問されている方もいらつしやいました。

紙幅の都合で要約はできませんが、担当者の印象に残った各講師の言葉を記します。「死の恐怖は分断の恐怖ではないか」「赤子にとって両親は縁で、自分の意志を因として生まれる」「人間のすることはすべて仮だと知らせてもらうのが宿

題「安心して死んでいける世界」。次回の人生講座は九月の秋彼岸会に開催されます(後の記事参照)。ぜひお参りください。



毎日 30 人から 50 人の参詣者があり、毎日参詣に来られている米山さんよりパンの配布をお手伝いいただきました。



【白鳥氏 (右上)、多田修氏 (右下)、山城氏 (左上)、春日氏 (左下)】

秋彼岸会のご案内

九月二十四日から二十六日まで、三条別院秋彼岸会・朝の人生講座を勤修いたします。

九月の朝の人生講座のテーマは「であい」。期間中御虫干し展も行います。

◆日 時 九月二十四日(土)～二十六日(月)
午前六時 晨朝 人生講座

午前十時より 日中法要(二十五日永代経総経
午後一時三十分より 速夜法要

◆場 所 三条別院本堂
◆講師

二十四日 人生講座 関 彩子氏(第二十組 樂運寺)
速夜法要 菊池 政和氏(九州教区 江善寺)

二十五日 人生講座 藤田 恵日氏(第十八組 福泉寺)
日中法要(永代経総経)・速夜法要

ひきつづき 菊池 政和氏
正午よりお斎あり(精進カレー※)

二十六日 人生講座 小泉 惇磨氏(第十四組 了元寺)
日中法要 ひきつづき 菊池 政和氏

▲三日間を通して九州教区教化本部長の菊池政和氏にお話しさせていただきます。

▲二十五日のお斎は大眾酒場・らーめん「カンテツ」の精進カレー(お代わり自由、お斎莫加金1,000円)です。申込期間：九月一日(木)～九月十九日(月) 三条別院まで、

電話・Fax・E・M・A・I・Lでお申し込みください。

▲晨朝後、パンと牛乳の配布を行います。

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

◆お勤め(御命日 日中法要)
文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五
和 讚 回口 次第六首
回 向 願以此功德

◎今月の法話講師
佐々木憲雄氏氏(第十五組光善寺)

御文五帖目 十三通
「六字名号・無上甚深」

◆今後の講師一覧

十月 八田裕治氏、八田摩矢子氏(第十七組淨福寺)

十一月 倉井光弥氏(第十一組養泉寺)

十二月 北島栄誠氏(第十一組長福寺)

▲本年も身近な御聖教である『御文』五帖目について継続して、聞いていきます。

◆今後の講師一覧

十月 八田裕治氏、八田摩矢子氏(第十七組淨福寺)

十一月 倉井光弥氏(第十一組養泉寺)
十二月 北島栄誠氏(第十一組長福寺)

別院 声明 教室

◇開催日

八月二十三日(火) ※夜の部のみ(済)

九月十二日(月)・十月十七日(月)

十一月十四日(月)・十一月十三日(火) (全五回)

◇時間

昼の部：三時～五時

夜の部：六時～八時

◇講師

昼の部：三条別院 列座

夜の部：長田 淨見氏 (第十六組 善興寺)

◇講習内容

昼の部：正信偈 草四句目下 (赤本の内容)

夜の部：浄土和讃 繰読み (声明集の内容)

◇持ち物

昼の部は赤本、夜の部は『大谷聲明集上』『真宗大谷派声明集』のうちどれか一冊、念珠

◇参加費 五百円/回

御正忌団体(坂東曲にあおう) 参拝募集中!

本年も十一月二十一日～二十八日まで真宗本廟(東本願寺)にて、御正忌報恩講が厳修されます。

今回は移動時間短縮のため、新潟・大阪間は航空機を利用します。

(空港までは現地集合・現地解散になります。) 御本山の参拝に加え、

大阪の難波別院、四天王寺等への参拝を計画しております。参加ご希望の方は申込欄にご記入の上、当別院までお申し込みください。



◆旅行期間

二〇二二年十一月二十七日(日)～

年十一月二十九日(火) 三日間

◆参加費用 八五,〇〇〇円(税込)

◆詳しくは案内チラシをご覧ください

フードバンクを継続中

―七月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

第二十三組慶誓寺、第二十組誓慶寺、第十五組善性寺

その他匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は九月二十六日(月)です。

その他の講座案内

○別院書道教室(生徒募集中!)

〔月二回第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しておりますので、ぜひお気軽に奉仕団を組んでみてください。

【奉仕研修真加金】

一人あたり半日(午前または午後 五百円、一日千円)

一泊二日は上記の真加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修真加金に含まれる。

②シャツ等クリーニング代千円

③食事代(ご要望等ございましたらご相談承ります)

○有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか?

その他事務連絡 お取り越し職員巡回

今年も職員が第十七組(十月四日)、第十八組(十月五日)、第二十組(十月十一日)、第二十二組(十月十四日)の各寺院にご挨拶させていただきます。事前に時間の目安をはがきで郵送いたしますので、不都合な場合はご連絡ください。

◆編集後記◆

『三条別院のご案内』九月号をお届けします。今月号の「三条別院に想う」は風間正喜さんにご執筆いただきました。ありがとうございます。「死」をテーマにした今回の朝の人生講座を通して、「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」という慶讃テーマを思い浮かべずにはいられませんでした。

「南無阿弥陀仏」の一声一声の中での出会いが、愚痴しかないこの身の背中を押してくれているように感じます。自身の身を「そくばくの業を持ちける身」として、仏と出遇っていかれた親鸞聖人の「かたじけなさ」をたずねていきたいと思いました。

(関崎)